

# シラバス

科目名	プログラミング探究	単位数	3単位	学年・学科	3学年 情報処理科	選択Ⅱ	
教科書名				副教材名			
科目の目標	アプリケーションおよびマクロ機能の特性を理解しつつ、小規模なアプリケーションシステムを開発出来るようになること。 (1) イベント駆動型プログラムの内容・構成を理解できる (2) 表計算・データベースソフトウェアとイベント駆動型プログラムを組み合わせたプログラム開発・動作環境を構築することができる (3) イベント駆動型プログラムの文法を理解し、プログラムを作成できる (4) 条件に合う処理を行えるプログラムを組み込んだシステムを開発・作成できる						
学習内容と進め方	はじめに開発例題をとおしてマクロ機能およびイベント駆動型プログラムの応用的な仕組みを学んだあと、条件に合う目的達成のために必要な処理を考察・設定し、「開発とテスト」を繰り返しながらシステム開発を学習する。						
学習の留意点	(1)開発環境はExcel上で、VBAを組み込む (2)処理は情報処理・ソフトウェア活用およびプログラミングで学んだものに加え、データベース連携等を想定						
月	単元	予定時数	具体的な学習内容	評価の観点			備考（評価項目）
				1	2	3	
4	オリエンテーション	1	実習の内容と評価について				ワークシート 関数
5	開発例題 業務支援システムの 作成	32	表計算ソフトウェアとマクロ機能を使用した販売業務支援システム作成 見積 仕入 販売 各処理の作成 ユーザフォームの表示・操作処理 データベース連携 分析処理内容の考察	○		○	VBA ユーザフォーム データベース
6				○		○	
7				○	○	○	
8	システム開発	68	業務支援システムの処理内容およびシステム開発条件の各レベルの内容をふまえ選択して作成する 各システム条件に合う設計・構築作成を行う 各システム ワークシートプログラム処理 ユーザフォーム処理 データベース連携				ワークシート 関数
9				○	○	○	VBA
10				○	○	○	ユーザフォーム
11				○	○	○	データベース
12				○	○	○	
1	システム相互評価	4	作成されたシステムを相互にテスト・動作確認し相互評価を行う 既定の評価ファイルに各項目を入力し作成 条件達成度 不備内容 修正原案	○	○	○	ワークシート
評価方法	(1) 学習評価は、作成したプログラム・ファイルなどの成果物により行う。						
評価の観点	観点	趣旨					
	1. 知識・技能	イベント駆動型プログラムの基本文法、フォーム処理、データベース連携を理解している					
	2. 思考・判断・表現	提示された条件を処理するためのシステムを具体的に考察することができる 開発例題をもとに必要な処理を設計できる					
評価基準	3. 主体的に学習に取り組む態度	システム開発演習の作成ファイルにより評価 トライ&エラーを繰り返しながら粘り強く開発に取り組み、システムを構築できる					
	1. 知識・技能	A システムの開発に関する知識と、課題解決のためのアルゴリズムおよびインタフェースを十分に理解している。 B システムの開発に関する知識と、課題解決のためのアルゴリズムおよびインタフェースを理解している。 C システムの開発に関する知識と、課題解決のためのアルゴリズムおよびインタフェースの理解が不十分である。					
	2. 思考・判断・表現	A システムの開発に関する課題の発見と、その解決のための有用なプログラム構築を、論理的な思考に基づき創造的に行うことができる。 B システムの開発に関する課題の発見と、その解決のための有用なプログラム構築を、論理的な思考に基づき行うことが概ねできている。 C システムの開発に関する課題の発見と、その解決のための有用なプログラム構築を、論理的な思考に基づいて行うことが不十分である。					
	3. 主体的に学習に取り組む態度	A ビジネスの諸活動を改善する技術の習得・向上を目指し、有用なプログラムとシステムの開発に主体的かつ協動的に取り組んでいる。 B ビジネスの諸活動を改善する技術の習得・向上を目指し、有用なプログラムとシステムの開発に概ね主体的かつ協動的に取り組んでいる。 C ビジネスの諸活動を改善する技術の習得・向上を目指し、有用なプログラムとシステムの開発に主体的・協動的な取り組みが不十分である。					